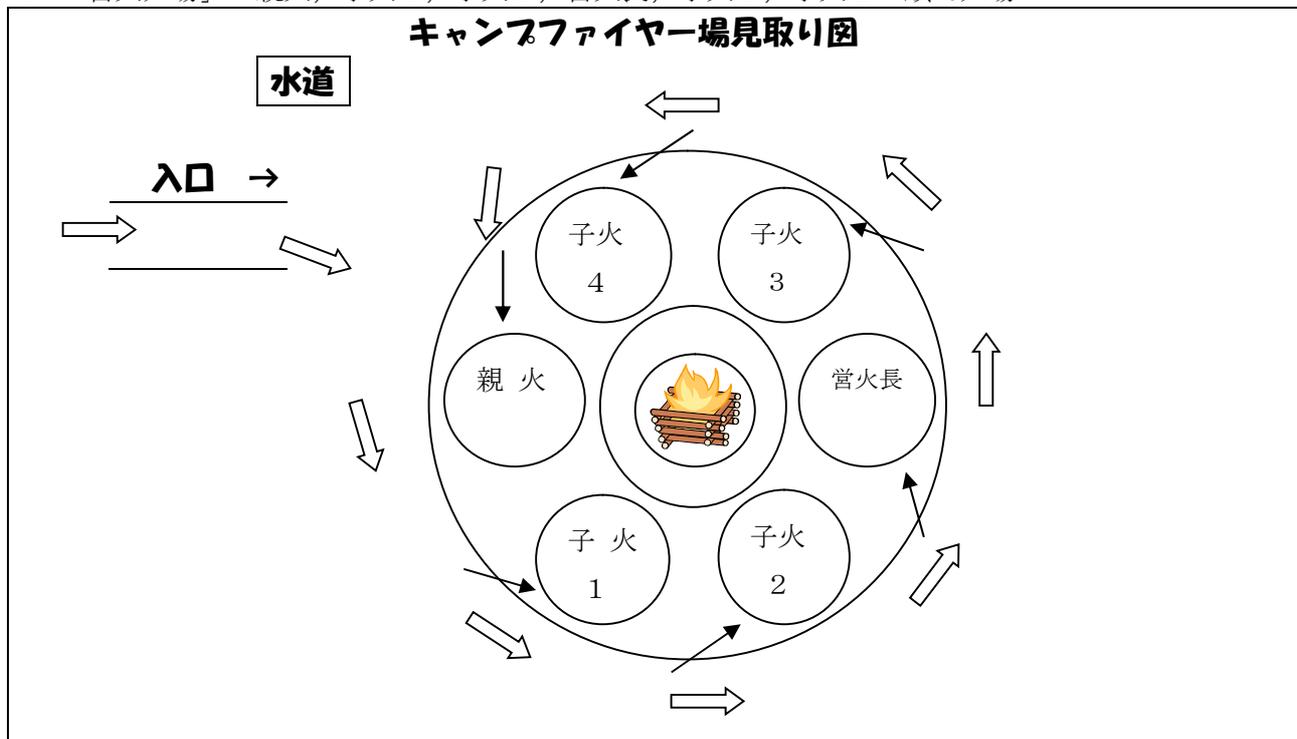


キャンプファイヤー進行例

<第1部：迎え火の式>

- 参加者入場（静→動→静の流れについて、事前に十分指導しておく）
ファイヤー台を丸く囲む形で席に着く。係は通路に待機，親火だけ火をつける。
- 開会の言葉（CDデッキ（ポータブルデッキ），「遠き山に日は落ちて」等のBGMを流す）
- 「営火入場」 親火，子火4，子火3，営火長，子火2，子火1の順で入場



4 「親火の方は営火にささげる言葉をお願いします。」

親火の言葉

「わたしたち〇〇〇〇〇の〇〇名は、ここ県立青少年研修センター赤崩山麓でキャンプファイヤーを囲むことになりました。一緒に活動し、寝食をともにする生活の中で、今まで知らなかった友達のすばらしい姿を発見し、友情を深めることができました。わたしたちは、この研修の機会を与えてくださった方々に感謝し、赤々と燃える炎のように強く、たくましく生きる人になりたいです。」

あかぐえさんろく

令和〇〇年〇月〇日 研修生代表 〇〇〇〇

5 「親火の方は、子火に呼びかけて分火してください。」 親火と子火の誓いの言葉（例）

親火	強い心と体の持ち主になるために（分火）
子火1	わたしたちは、心と体をきたえ、どんな苦しみにも負けず最後までやりぬく強い心と体の持ち主になるようにつとめます。
親火	豊かな心の持ち主となるために（分火）
子火2	わたしたちは、自分のことだけでなく、いつも他人の立場を考え、親切で思いやりのあるあたたかい人間になるよう心がけます。
親火	いつまでも変わらない友情のために（分火）
子火3	わたしたちは、このすばらしい友情をさらに深め、これからの人生をともに助け合い、励まし合っていくことを誓います。
親火	一日一日に全力をつくすために
子火4	わたしたちは、一日一日を反省し、明日に向かって全力をつくし、くいのない毎日を過ごすようつとめます。

※ 営火長にも火を分ける。

6 「営火長さんは迎え火の言葉をお願いします。」

営火長の言葉

「日は沈み、赤崩山麓にも夜のとばりが静かにおりて参りました。今夜は、みなさんこうしてキャンプファイヤーを開くことができ、大変うれしく思います。今夜のキャンプファイヤーがさらに友情を深め、団結を強め、今後の生活の向上につながるものとして、いつまでも心のアルバムに残るよう希望して迎え火の言葉とします。」

7 「営火長さんは、点火の合図をお願いします。」

8 BGM「燃えろよ燃えろ」

9 係のみなさんは、退場してください。

<第2部：交歓の集い>

10 「静かな中で第1部のセレモニーが終わりました。これからレクリエーションを始めます。歌やゲームで大いに楽しみましょう。」

<第3部：送り火の式>

親火、子火4、子火3、営火長、子火2、子火1は、それぞれトーチを持ってファイヤーを囲むようにはじめと同じ位置につく。

11 「ただいまから送り火の式を始めます。」

12 「営火長さんは、送り火の言葉をお願いします。」

13 営火長の言葉

「力強く、赤々と燃えていたファイヤーも今は小さくなり、四方の山々や木々も静かに眠りに入ろうとしています。今夜は、こうして楽しく、また新たな感激でキャンプファイヤーを開くことができました。それは、みなさんの一人一人の心がひとつになったあかしです。わたしたちは、これからの学校生活や家庭、地域での生活にこの心をもち続けて協力していきたいと思います。このキャンプファイヤーの炎を自分の心に移すことにより、いつまでも変わらぬ情熱と友情の炎とし、明日からの生活に燃やし続けることを期待して、送り火の言葉とします。」

14 「係のみなさんは、採火してください。」

15 「係のみなさんは、退場してください。」

16 「以上で、〇〇〇〇のキャンプファイヤーの全てを終わります。」

17 参加者退場、参加者は安全面に留意して退場する。トーチは、ぬれぞうきんをかけて消す。